

令和7年度第二回中央区環境行動計画推進委員会
令和8年1月23日（金）

令和7年度 主な環境関連施策の取組状況について

1 都市間連携によるエネルギーの調達

（1）事業概要

本区は、福島県大熊町と、令和6年1月18日に「脱炭素による未来共創に関する連携協定」を締結しました。

電力の脱炭素に向け再生可能エネルギーの確保が課題の本区と、ゼロカーボン推進による復興まちづくりを進める大熊町が、脱炭素を軸に連携し、ゼロカーボンシティの実現および相互の地域課題の解決を目指すための取組を進めています。

本協定に基づく具体的な取組として、令和7年4月から、阿武隈風力発電所由来を中心とした大熊町の再生可能エネルギー電力を購入し、区施設で利用を開始しました。

（2）受電施設

- ①中央区晴海特別出張所等複合施設
- ②中央区立中央小学校及び中央区立中央幼稚園
- ③中央区立日本橋小学校等複合施設
- ④中央区立月島第三小学校等複合施設
- ⑤中央区立晴海西小学校及び中央区立晴海西中学校

（3）大熊町への裨益

再生可能エネルギー電力の売却収益は、電力の供給元である「大熊るるん電力株式会社」を通じて、大熊町の復興まちづくりに活用されます。具体的には、移住・定住促進などの地域ビジネス事業や、同町のゼロカーボン実現に向けた取組の資金源となり、町の持続的な発展に寄与するものであります。

【参考】



阿武隈風力発電所の位置
<福島県ホームページ・県内市町村地図を加工>



阿武隈風力発電所の風力発電設備

【福島県大熊町と脱炭素を軸とした連携事業】（中央区HP）

<https://www.city.chuo.lg.jp/a0036/kankyo/202401ookumarenkeikyoutei.html>

2 ゼロカーボン機運醸成事業（Team Carbon Zero）

（1）事業概要

区内の脱炭素化に向けた機運の醸成を図るため、区内に在住・在学・在勤の中学生から20代までの若い世代が、脱炭素に向けた取り組みを自ら考えて実践・発信するチームプロジェクト「Team Carbon Zero（チームカーボンゼロ）」を令和5年度から開始しました。

2年を1期としており、令和6年度をもって第1期が終了し、令和7年度から、第2期の活動に取り組んでいます。

（2）第1期（令和5～6年度）の振り返り

参加メンバー：19名（中学生：6名、高校生：6名、社会人：7名）

活動内容：1年目（令和5年度）は気候変動問題などを学び、2年目（令和6年度）は1年目の学びを活かし、メンバー自らが計画したグループワークを通じて、区民や区内事業者に対して、脱炭素化への行動変容を促す実践活動を行いました。

（グループワークの一例）

- ・江戸バスへの広告掲載やSNSを活用した情報発信
- ・区立中学校での間伐材を活用したワークショップの開催
- ・カーボンニュートラルについて学ぶ区民向けカードゲーム大会の開催
- ・区への政策提言

※区への政策提言については、現在、事業化に向けた検討・調整を進めている。

（3）第2期の取組状況と今後の予定

参加メンバー：14名（中学生：3名、高校生：9名、社会人：2名）

活動内容：令和7年度は、ワークショップ等を通じて、地球温暖化や脱炭素についての学びを深めています。脱炭素化に向けてより効果的な実践活動ができるよう、環境分野の知見を持つアドバイザーを配置しています。

今後の取組：2つのグループに分かれ、区内の脱炭素化に向けて、区民や区内事業者の行動変容を促す実践活動を進めていく予定です。

【参考】



第1期メンバーのグループワークの様子



第2期メンバー

【ゼロカーボン機運醸成事業「Team Carbon Zero」】（中央区HP）

<https://www.city.chuo.lg.jp/machizukuri/bika/taisaku/teamcarbonzero/index.html>